

## 第65回 北九州市福祉有償運送運営協議会 議事録

日 時:令和7年11月11日(火)10:00~11:00

場 所:北九州市立福社会館8階 83・84会議室

出席者:構成員 9名(敬称略)

会長:岡田 和敏(西南女学院大学)、副会長:貞包 健一(北九州タクシー協会)、民谷 充(北九州市都市交通政策課)、古賀 由美子(北九州市障害福祉団体連絡協議会)、田代 久美枝(認知症・草の根ネットワーク)、江藤 凌央((代理)福岡運輸支局)、中村 朗(自交総連福岡地方連合会)、大石 真純(特定非営利活動法人北九州あいの会)、田津 真一(北九州市地域福祉推進課)

(事務局)後藤、平田(北九州市地域福祉推進課)

10月の構成員の異動について紹介

### 議題1 福祉有償運送実施団体の更新登録申請について

事務局から、令和8年1月7日付けで更新登録が必要な1団体「NPO法人 ハッピービー」、令和8年1月14日付けで更新登録が必要な3団体「NPO法人 そよ風」、「特定非営利活動法人 さんぽ」、「医療法人 桜が丘クリニック」について、4団体から提出のあった更新登録申請に必要な書類の内容について説明を行い、構成員の意見及び承認を得た。

#### 【質疑応答】

(構成員)医療法人桜が丘クリニックを認定した時に、職員をボランティアで使うのかとか、どのような方たちを運ぶのかという要件の話があったと思うが、その後問題はないか。

(事務局)桜が丘クリニックは、教育委員会からの依頼を受け、自宅から学校までの送迎をしている。教育委員会と連絡調整をしながら、頑張っている。去年、事業所を訪ねた時に従事する方も、その時間帯は、事業所の業務とは切り分けてシフトを組み、特に問題ないと確認している。

### 議題2-(1) 福祉有償運送実施団体の変更に関する協議・報告事項について

事務局から、福祉有償運送実施団体(10団体)の変更に関する協議・報告事項について説明を行い、構成員の承認を得た。

## 議題2-(2) 運送の対価等の変更について

事務局から、福祉有償運送実施団体(2団体)の運送の対価等の変更について説明を行い、構成員の承認を得た。

### 【質疑応答】

(構成員)物価高や人材確保で、どの団体も苦勞されていると思う。私たちも、生の声を聞くことが一番理解できると思うので、現場の苦勞しているところとか、こうあったらいいなとか、そういった生の声を、聞かせていただけたら、ありがたいと思う。

(構成員)ドライバーの高齡化、人材を募集してもなかなか協力者が増えないところをどう増やしていくかをクリアしながら、安全運轉で繼續していきたいと思っている。ニーズ、相談は増えるが、そのすべてには応えられず、他の団体を紹介しているが、その先でどこにつながるのかが気になりながらお断りすることも増えている。団体自体の存続も守っていないといけないというところの、料金の設定をどうするかということで、役員会で考えて変更を決めた。他団体と比べると距離によって高くなることもあるが仕方ないところでの選択である。特に長距離利用の方への値上がり幅が大きくなるが、そこは、ご了解いただいている。日頃の買い物、通院にお困りの方の依頼にどこまで応えていけるのかというのを、良い例ややりがいなどをPRしつつ、若手の人に参加してもらうことを考えたいと思っている。若手の人の輪を広げている団体もあり、団体全体の人員確保などでも、良いPRと一緒にできる方法はないかと考えている。

(構成員)やっぱり、区全体とかでないとい 団体だけの努力ではできなくなっている。

(構成員)人材確保については、後継者を養成していくことまで考えていかざるをえない。どこの団体も同じだと思う。

(構成員)以前になるが、福祉有償運送実施団体の皆さんが集まって、困り事や解決しなければいけないことを共有する話し合いをしたことがあった。その後、そういうことはしてきていない気がするが、私たちは、現場がわからず、書類上でしか見ることができないので、現場の方たちと意見交換などをして、みんなで一緒に良い方法を考えるとか、いろんなところとコラボしていかないとお互いにやっていけないと思うので、そういうことができたらいと思った。

(構成員)地域福祉のことを検討していると、担い手の話は常に出てくる。いろんな団体の話を聞く中で、例えば好事例があった時に団体間で共有する、好事例を横展開していくことができれば参考になるのではないかと思う。

(構成員)認知症カフェの参加者は、認知症のご本人や介護している方であるが、最近多いのは介護の初めの人たち、意外と若い人たちがどうやったらいいとか、認知症のことを知らないというのがすごく多くて、ショックを受けている。もう一回原点に戻ってどうということっていうのを話ししないといけない。難病とも関係しているが難病の方たちもそう。人数が少ないと世間一般に知られていないので。じゃあどうするかというと、手を出す人たちが少なくなっている。うちのカフェの中で言えば、その参加者の中で、この方と思った方の中から年間8名くらいボランティアマスターをしてもらって

いる。新しくボランティアを探すのではなく、参加者の中から教育して、ボランティアする方たちが出てきた。体験しているので、非常にいい。

(構成員) 運送の対価等の変更で、運送料金を上げるについて賛成である。ただ、不安なのが、変更の理由にガソリン代高騰と最低賃金改定とある。トリガー条項が外れれば、ガソリン代は今後安くなると思われるが、ガソリン代が下がっても、その他に物価が上がっているし、運送の対価を下げる変更は必要ないと思っている。

また、最低賃金改定の影響とあるが、ボランティアの方に最低賃金を支払うのか。

(構成員) この場合、1回の運送で、例えば2キロ以内運送料金650円のドライバーには450円支払う。時給ではなく、1回の運送でいくらという支払いをしているが、事務所に常駐しているスタッフが送迎に対応する場合は、勤務時間の中で運送している。団体によっては、時給いくらと、雇用されて運転協力者を確保されているようである。

(構成員) 批判ではないのだが、最低賃金を払っていくと、この料金を収受するぐらいでは成り立たないのではないかということが心配である。

(構成員) 変更理由は福祉有償運送についてというよりも、団体本体の運営が厳しいので、福祉有償運送を維持するためには、事情を理解してくださいということでご了承いただこうとしている。

(構成員) 最低賃金の適用ということではなくて、ボランティアの世界でも社会全体の価値観が影響する。当然最低賃金も、視野に入っている。ボランティアといえども、今はもう無償ではない。無償でない方が私はいいと思う。影響があるので、ここの理由に挙げられたのかなと思う。

### 議題3 福祉有償運送実施団体の上半期報告について

事務局から、福祉有償運送実施団体(13団体)の令和7年度福祉有償運送実施団体の上半期報告を行い、構成員の承認を得た。

#### その他

##### 【質疑応答】

(構成員) 北九州市の福祉有償運送で一番大きな団体は社協だと思うが、社協の状況はあまり情報が入ってこない。運営状況などがどのようになっているのか、状況を教えてもらいたい。

以上。

#### 閉会